

平成 27 年 10 月 8 日 00242 号

編集者:佐藤 寿春

北見武道通信

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

ニュースレター【武道館情報】窓ガラス越しのけいこ風景



第14回目 ~ (道場2を武道の広場窓ガラス越しに) ~

武道館玄関(南) 武道の広場を北側に進み右手に道場 2 が在り、いつもは主に剣道や少林寺拳法が稽古をしていますが、日中の空いている時間には、太極拳やフラダンスが利用することがあります。武道の広場窓ガラス越しに覗いてみると、フラダンスの団体が広いステージを想定したリハーサルが行われていました。

日本刀の手入れは体育功労賞受賞が決まった坂東招造先生にお願いしています。



武道の広場に展示されている日本刀は、居合道の坂東招造先生(範士九段)より武道館が落成したときに寄贈されたものです。管理は北見市武道館がしているのですが、真剣の為、手入れをする際は危険も伴います。その為、居合道連盟の坂東先生にいつもお願いをしています。また、坂東招造先生は 10 月 12 日に体育功労賞の受賞が決まっています。

世界一の「極の形」と「柔道の受身」を伝授!



9 月 25 日 26 日、今尾省司七段と清水和徳六段が柔道の形指導に北見市武道館に来てくれました。両先生は、数々の国際大会や世界柔道形選手権大会で優勝しています。この度、中澤伸一氏・中澤正氏が全日本形選手権大会で「極の形」に挑戦するに当たり、直接指導するため特別の来北となりました。又、少年柔道の子供達とも挨拶を交わし、柔道の基本である受身を今尾省司七段が実践披露し、子供達が目を輝かせていました。

これで、世界一の柔道の基本が、北見の子供達に伝授されたこととなります。

連載「武道宝鑑」第5弾 柔道の本義と修行の目的 講道館師範 嘉納治五郎

武術というても、その種類は甚だ多く、中には実用上殆ど価値のないものもある。撃剣の如きは、種々の点に於いて価値のあるものと認めるが、そういう武術は今日既に独立して盛んに行われているから、柔術の道場に於いて特に急いでその施設をせねばならぬ程の必要を認めない。併し、撃剣の如きも追々改良を加えなければならぬから、そういう必要から、柔術の道場の中にも設けらるることになると思う。そういう訳で、撃剣などは必要とする一つであるが、棒術の如きは一層必要であって、最も早く柔術の道場の一科として採用されねばならぬ、何れならば、人間は無手で居る場合に次いで、杖なりコウモリ傘なりを持っていることが多いから、実用上それ等を使用することを心得ている必要があると思う。つづく